



代表取締役社長

KITAZAWA MOTONORI

北沢 資謹

明治時代、「飯田の四天王」と呼ばれた4人の請負師がいた。そのうちの1人である北澤嘉市こそが、北沢建設株式会社のルーツとなる人物だ。北澤嘉市の血を引く代表取締役社長の北沢資謹は、今までどのような道のりを歩んできたのだろうか。その半生に迫り、新たに導入される社内報に対する思いを聞いた。

先祖・北澤嘉市との

出会い

きっかけは、小学校6年生の時に受けた授業だった。内容は、郷土の講談師「竹村浪の人」による、明治時代に「飯田の四天王」と呼ばれてふるさとを守るために活躍した、4人の請負師の話である。少年だった北沢は胸を高鳴らせ、瞳を輝かせて、四天王の血湧き肉躍る躍進劇に聞き入った。中でも同じ苗字を持つ「北澤嘉市」には親近感を抱き、心を寄せたという。そうして授業が終わったあと、担

任教師からこんな言葉をかけられたのだ。

「さっきの話に出てきた北澤嘉市は、君のご先祖様にあたる人物だよ」。

その時の衝撃は、ありありと胸に焼きついている。

現在の北沢建設の創業者北沢三郎（2012年7月没）は、嘉市の初ひ孫にあたる迪子と結婚し、北澤家に養子に入った人。しかし三郎は長男の北沢にも業界内にもついぞ「嘉市」に触れることはなかった。今となつては知る由もないが、創業者としての諦観でも矜持でもあったのだろう。



▲幼少のころの1枚

脈々と受け継がれ、 今に生きる

北澤嘉市が請負師として活躍した飯田市は、戦後間もなく大火に見舞われた。わずかに残った資料のうち、1930年（昭和5年）の飯田市街商工業案内図には、「土木請負業・北澤セメント工業所」の名を見つけることができる。当時の最新素材であったセメントを取り入れ、現在では建設業の生産性向上のための「全体最適」として取り沙汰されるコンクリート2次製品への特化をすでに考えていたのである。

「今、メイン事業の1つとして手がけている橋梁補修では、材料として鋼材やコンクリートが用いられ、ここにもセメントが使用されています。90年以上も前に北澤嘉市が目をつけたセメントが、現在の北沢建設につながっている……：そう考えると不思議な縁を感じますね。」

社会人としての 一歩を踏み出して

小学校6年生で北澤嘉市の存在を知った北沢は成長を重ね、京都府の立命館大学へ進学。学生運動の残る時期であり、キャンパス内でのデモに遭遇することもしばしば。下宿先であった帷子ノ辻駅は太秦映画村に近く、大映京都撮影所の門前にあった食堂「むらさき」には映画関係者も数多く訪れていた。友人とともにこの食堂の暖簾をくぐり、映画関係者と仲良くなって撮影の裏話を聞くのが楽し



▲飛鳥建設時代：山陽自動車道門前橋下部工工事（昭和57年）

みだったという。

大学卒業後の1981年（昭和56年）、飛鳥建設株式会社に入社。新入社員研修を終えると広島支店に配属された。思い出の1つとして、尾道の民間団地造成工事が挙げられる。

「仕事の様子がわかるよう、親御さんに見せてあげなさい」。

大規模土工に使用するモータースクレーパーの巨大タイヤの横に立ったところを、先輩社員が写真に撮ってくれた。何気ない心づかいがとても嬉しかったことをよく覚えている。11万7000円の初任給を手にした時には、これまでの感謝の思いを込め、尾道の銘菓を購入して実家に送った。そのお菓子を手にした祖母はいたく感動し、神棚に供えていつまでも食べようとしたという。その後山口県、鳥取県、島根県、岡山県などに赴任。どの現場も観光地の近くだったが、当時は休日も少なく、足を運んで絶景を楽しむ機会にはなかなか恵まれなかった。

そうして一歩ずつではあるが着実に知識と経験を積み、あつという間に5年ほどの歳月が流れる。山梨県が本社の株式会社早野組に活躍の場を移すと、東京支店で営業活動に従事。およそ2年にわたって官公庁への営業活動をしたり、入札を学んだり。ここで身につけた知識は、今でも大きな糧となっているのだった。

（後編に続く）

この度、新たに社内報を創刊することになりました！

『架け橋』創刊のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により、世の中は大きな変化を余儀なくされました。働き方も様変わりし、人と人とのコミュニケーションが困難な状況にあります。そんな中で、社内の結束をより一層強めるために今回、社内報を導入しました。北沢建設で働く一人ひとりにスポットをあて、それぞれの人となりや仕事に対する思いに迫っていきたく思います！この社内報は社員たちをつなぐ「懸け橋」となるよう、様々な仕掛けをしていくつもりです。どうぞ楽しみにしてください！

北沢建設で働いて良かったこと



北沢建設での様々な経験を経て、今だから感じる「働いてよかった!」と思うことについて、宮下さんと塩沢さんにそれぞれお伺いしました。



工事部 工事課長

みやした ひでき

宮下 英樹さん

入社年月

1984年4月

北沢建設の魅力

新しい分野への挑戦が当社の魅力であり、強み

私は、入社して38年が経ちます。入社当時は、公共事業の中での土木工事しか行っていませんでした。しかし今では、橋梁補修や、コンサルタント事業部を作って設計にも関わっています。また、現在は入社当時と比べて倍ほどの社員数になりました。今後も一人ひとりの声がきちんと届くことを期待しています。

今だから話せる……

若い頃、繁忙期の忙しさとプレッシャーから、「今やっている仕事が終わったら別のことも考えようかな」と思ったこともありました。しかし、建設関係の仕事が自分に合っていると思っているので、辞めたいと思ったことはほとんどありません。

これまで働いて良かった!

「自分の作ったもの」がずっと残っていることです。ふとしたときに携わったものを目にする、これは自分が作ったんだと、嬉しく感じます。また、国土交通省から工事表彰と技術者表彰をいただき、これまでの仕事を評価していただけて嬉しく思いました。

印象に残っている言葉

「おまえさんがちゃんとそうやって仕事ができるのは、
家族の協力があってこそ、ちゃんと肝に銘じて
家族のことを大事にしないとイケないよ」

以前、大変忙しかった時期に先輩から言われた言葉です。繁忙期の打ち上げで言うくださり、先輩には大変感謝しております。



工事部

しおがわ たくや

塩沢 拓也さん

入社年月

2012年4月

北沢建設の魅力

資格関係の取得を
手厚くバックアップしてくれるところ

具体的には、講習会の開催や参考書の配布等を通して支援してくれます。そのため、資格を取得している従業員が多いイメージです。ちなみに私は一級土木施工管理技士という資格を持っています。また、新入社員を採用することに力を入れていて、同年代の従業員も多くいるので、雰囲気は明るく、勢いがある会社だと感じます。

これまで働いて良かった!

工事が終わった後、下請けの方に「塩沢くんの現場なら、次もぜひ呼んでくれれば行きますので」と言われたことがあり、大変嬉しくやりがいを感じました。私は働く上で、気軽に何でも言えるよう、現場内の円滑なコミュニケーションに気を付けているので、その行動がこのような言葉に繋がっているのかなと思います。

プライベートでの交流について

買い物に行くこともあれば、飲みに行くこともあります。前日から集まって、皆で県外までパチンコを打ちに行ったこともありました。結果はだめでしたけどね(笑)

印象に残っている言葉

「(次の現場では俺のパートナーとして)
部長にお前を推薦しておいたから」

若い頃、私が担当していた現場にて、とある先輩から言われた言葉です。竣工検査前の書類整備をしていたときだったのですが、初めて先輩に認められた気持ちになり、とても嬉しかったのを覚えています。

現場紹介

それぞれの現場では、どのような工事が行われているのでしょうか。
記念すべき1回目はこの現場です。
皆さんも他現場のノウハウを参考にしてみたいはいかがでしょうか？

～ 中央自動車道名古屋支社管内下部工耐震補強工事 ～

発注者：中日本高速道路株式会社名古屋支社 施工者：北沢・長豊特定建設工事共同企業体

現場概要

工期：2018年10月～2022年4月（予定）

工事概要：中央自動車道伊那インターから多治見インター間(約124 km)のロックンブ橋脚を有する橋梁(橋台を含んだ橋梁下部工)の耐震補強

背景：熊本の震災でロックンブ橋脚が倒壊、九州自動車道が通行止となったことを受け、全国の同形式橋の耐震補強が早急一斉に行われることになった。



おざわ まさき
工事部 工事長 **小澤 雅樹さん**

担当：現場代理人・監理技術者(飯田管内)

苦勞した点

現場では、管内のスタイル違いによる混乱が……。飯田管内と多治見管内の建設コンサルが違うため、手法が異なり、同じ補強でも都度時間を要しました。また、発注者担当事務所も飯田と多治見で分かれており、設計の考え方や書類がそれぞれ違うこと、施工箇所が7つのICに点在し、工程が厳しくほぼ一斉の施工となること、沿線で多数の他社工事も動いており、交通規制の調整が煩雑だったことなどが、特に苦勞した点です。



坂本橋



桑園橋

今後の目標

私は、**発注者とのコミュニケーションが成功に繋がる鍵**と考えています。そのため、今後もコミュニケーションは大事にして作業にあたるつもりです。橋梁補修自体が新しい技術であるため、設計の意図をしっかりと汲み取り、これまでの経験をもとに、より丁寧な説明を心掛けることが使命と考えています。

今回の現場で学んだこと

コンクリート構造物の補強では、いつも**ひび割れ**の抑制に頭を悩ませます。2017年に施工した別工事でひび割れが発生したために対策を発注者と検討し、今回の工事では**柱にガラス繊維シートを巻き付けた後にコンクリート打設を行う工法**としました。それでもひび割れが確認されたので、今後はシートを増量するなど、さらなる対策を考えたいと思います。



くらた まさし
工事部 工事長 **倉田 正志さん**

担当：監理技術者(多治見管内)

苦勞した点

橋脚部分は9割ほど土に隠れていたため、そこを掘り出し、躯体のコンクリート面を出すところから工事が始まりました。橋台は1970年代に作られたもので、一部がスリット式になっている構造です。コンクリート部分を掘り出すと、土の面も出てきてしまうので、**のり面を補強しながら掘り進めること**に苦勞しました。

また、補強のために10数mの鉄筋を地面に挿し込み、モルタルで固めていたところ、本線の沈下が判明。一度工事はストップし、対策検討や調査に9ヶ月、承認後の対策工事完了までにさらに10ヶ月を要しました。その後私たちの工事が再開し、5ヶ月かけてコンクリート部分を掘削。対策工事では土の中に薬液を入れて固める工法をとっていたので、**地面の隆起や薬液漏れの確認・管理**にも苦勞しました。

こだわった点

高速道路での作業なので、常に利用者の目がある現場です。誰に見られてもいいように注意しながら、作業に取り組みました。



長島橋



多治見インター橋

今回の現場で学んだこと

高速道路の工事では、時間の制約があったり、交通事故で工事を止める必要があったりします。工程をつなげるために、都度代替案の検討をしながら進めてきました。



小泉橋

今後の目標

昨今、鉄筋不足などの不正や構造物の偽装が社会問題になっています。**胸を張って引き渡しができる**よう、発注者と常にコミュニケーションを取り、円滑に進めていきたいと思っています。